



平成22年度 自然公園ふれあい全国大会開催

～霧島屋久国立公園の魅力～

平成22年度自然公園ふれあい全国大会開催



わっぜか 地域^{こども}の自然 つないでいこう 子どもらに
～霧島・錦江湾・屋久島 再発見～

- 趣 旨** 自然に対する理解を深め、自然公園の適正利用の普及を推進するとともに、自然を大切にする心を育む
- 開 催 日** 平成22年11月13日(土)から11月14日(日)
- 開催場所** 鹿児島県霧島市 霧島国際音楽ホール ほか (霧島屋久国立公園(鹿児島県域)及びその周辺地域)
- 主 催** 環境省, 鹿児島県, 財団法人国立公園協会
平成22年度自然公園ふれあい全国大会実行委員会(鹿児島市, 指宿市, 垂水市, 霧島市, 湧水町, 南大隅町, 屋久島町を含む)

開催の基本方針と実施プログラム

基 本 方 針

- 地域の人々が、地域の自然や文化の魅力を再認識し、誇りを持つこと。
- 将来につないでいくこと。(世代間の連携)
※次代を担う子ども達の環境教育を促進すること。
- 人と自然の関わり方を提案すること。
(鹿児島からの鹿児島らしい提案)
- 国立公園を地域振興に役立てるという視点に立ち、観光の核となり得る公園の魅力をPRすること。



実 施 プ ロ グ ラ ム

こども自然環境学習発表会
関係市町代表7校(小中学校)による発表

ワークショップ

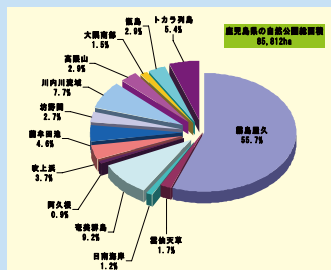
県外ゲストを交えての自然保護推進員等による意見交換会

地域イベント、シンポジウム、ふれあい広場、パネル展示

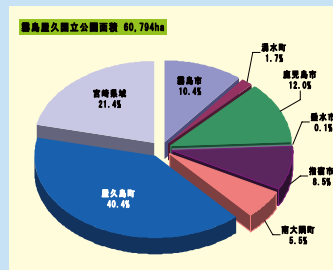
公園の課題や魅力の情報発信・PR

霧島屋久国立公園とは

- 日本初の国立公園(昭和9年3月16日指定)
- 面積は29国立公園中第13位
- 県自然公園面積(85,812ha)の約56%
- 利用密度は29国立公園中第10位
- 日本最初の世界自然遺産登録(屋久島 平成5年登録)
- 霧島…日本ジオパーク認定(平成22年9月)
- ラムサール条約登録湿地(屋久島町永田浜 平成17年登録)



県自然公園面積全体に占める各公園面積割合



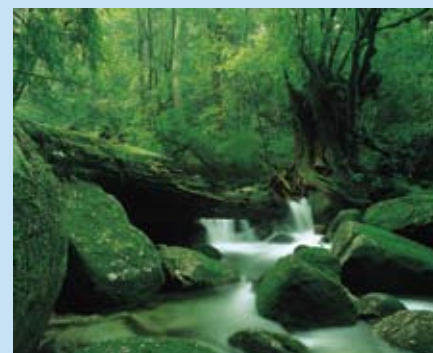
霧島屋久国立公園の市町等別面積割合



©K.P.V.B



©K.P.V.B



©K.P.V.B



©K.P.V.B



©K.P.V.B

山湖等

- 活火山(気象庁定義)…霧島山, 桜島, 池田・山川, 開聞岳, 口永良部島の5つ
- 大浪池……………日本一標高の高い火口湖
(火口壁の高さは標高1,412m)
- 池田湖……………九州最大の湖(直径3.5km, 周囲約15km, 最大水深233m), カルデラ湖
- 縄文杉……………推定樹齢7,200年(昭和41年に発見), 大きさ全国18位, スギで2位(幹周)
- 錦江湾……………日本唯一のカルデラ湖(傾斜角の大きい碗形の海底地形, 最大水深237m)
- 宮之浦岳……………九州最高峰(標高1,936m)
- 日本百名山……………霧島山(1,700m韓国岳), 開聞岳(924m), 宮之浦岳(1,936m)
- 県花ミヤマキリシマ…霧島山系に自生
- 天然砂蒸温泉……………世界で指宿市にしかない。
- 海域公園6箇所……………桜島(神瀬, 沖小島), 佐多(佐多岬, 枇杷島), 屋久島(口永良部城ヶ崎, 栗生)

文学

- 椋鳩十……………大造じいさんとガン(栗野), 雉と山鳩(霧島山), 栗野岳の主(栗野), 片耳の大鹿(屋久島), チビザル兄弟(屋久島), 海上アルプス(屋久島), やくざる大王(屋久島)
- 林芙美子……………浮雲(屋久島)
- 梅崎春生……………桜島
- 若山牧水……………「有明の月は冴えつつ 霧島の山の大間に 霧たちわたる」
- 与謝野晶子……………「溪溪の湯の霧しろしきりしまは星の生る境ならまし」
「さくら嶋草のかづらの糸引くもただ片はしの焼け石にして」
他多数

霧島屋久国立公園の再編について

「錦江湾の海域カルデラを中心に国立公園区域を拡充するとともに,これに伴い霧島屋久国立公園を再編成して,霧島・錦江湾地域及び屋久島地域をそれぞれ一つの国立公園とする。」ことが,「平成22年度自然公園ふれあい全国大会式典」にて,環境大臣により公表されました。

再編成後の公園の名称等は,中央環境審議会への諮問を経て,決定される見込です。

平成22年度自然公園ふれあい全国大会の内容

大会式典[11月13日(土)霧島国際音楽ホール]

高円宮妃殿下の御臨席のもと、自然公園関係功労者の環境大臣表彰として19人、1団体、県知事表彰として4人、8団体の方々が受賞され、妃殿下からは表彰受賞者をはじめ、自然保護に携わる関係者一同にお言葉を賜りました。

また、オープニングセレモニーで自然環境学習について発表した霧島小学校の児童が、優れた景観や豊かな自然を今後とも大切にしていきますと誓いの言葉を述べました。



シンポジウム[11月14日(日)かごしま県民交流センター]



霧島屋久国立公園の魅力的な自然や錦江湾等の地域と文化の特色を映像で紹介するとともに、オープニングトークでは、俳優の榎木孝明氏が鹿児島島の風景をテーマに講演を行いました。また、公開対談では、鹿児島島の自然と歴史をテーマに小野寺浩鹿児島大学学長補佐と原口泉鹿児島大学教授の対談が行われました。

こども自然環境学習発表会[11月14日(日)かごしま県民交流センター]

霧島屋久国立公園区域に関係する7市町代表校の7小中学校が、自然環境に関する学習内容について発表しました。

霧島で発見され減少しつつある貴重な蝶「キシマミドリシジミ」の保護活動や桜島の豊かな自然環境を守る仕組みについての学習活動等、これまでに取り組んだ自然保護活動や今後取り組んでいく活動等について発表しました。



ワークショップ[11月14日(日)かごしま市民福祉プラザ]



南アルプス国立公園で活動する環境大臣表彰受賞者清水准一氏の講演や自然保護推進員、自然公園指導員等を交えたパネルディスカッションを行い、自然公園の利用の在り方等について意見交換を行いました。

ふれあい広場・パネル展示[11月13日(土)霧島国際音楽ホール][14日(日)かごしま県民交流センター]

【ふれあい広場】

地元特産品の展示販売、観光PRを行い、自然保護団体による活動内容の紹介や体験コーナーの設置などを行いました。

【パネル展示】

霧島屋久国立公園を中心とするすばらしい景観や多様な自然の紹介をはじめ、こども自然環境学習の成果について、パネルを展示しました。



地域イベント【10月30日(土)～11月24日(水)】

コース
No.1

桜島おしゃべり散策ミニツアー (会場:桜島ビジターセンターとその周辺)

【11月14日(日)】

ボランティアガイドから桜島の歴史、自然、文化などについての説明を聞きながら桜島ビジターセンターや溶岩なぎさ遊歩道を散策しました。



コース
No.2

よりみちクルーズ船 (会場:錦江湾内)

【11月10日(水)、17日(水)、24日(水)】

桜島フェリーが通常の運行コースから少し「よりみち」をして神瀬(かんぜ)や大正溶岩原など、錦江湾と桜島の魅力を海上から楽しんでいただく、約45分間のクルーズを実施しました。



コース
No.3

指宿 火山の恵み体験ツアー (会場:池田湖)

【11月7日(日)】

池田湖でカヌーから野鳥観察を行い、地熱を利用した鰻地区の天然のカマド「スメ」で料理した「蒸し鶏」の舌鼓と太平洋を望むロケーションで「山川砂むし温泉」を体験しました。



コース
No.7

神々の川、奥天降の魅力再発見 (会場:天降川上流周辺)

【11月13日(土)】

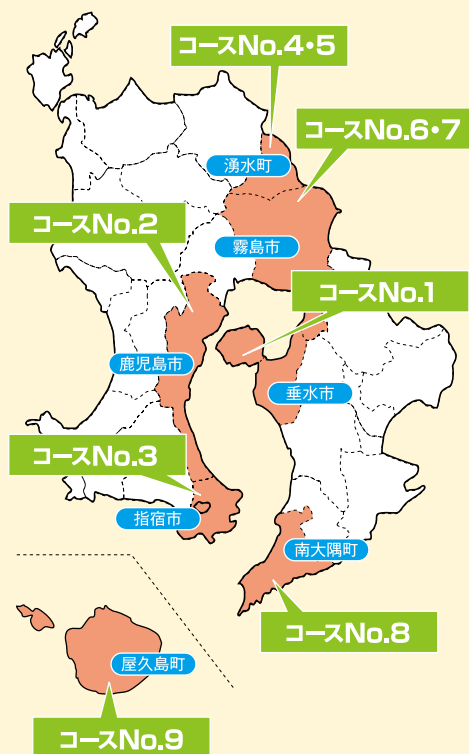
奥天降と呼ばれる鹿児島空港北側の天降川上流一帯を巡り、美しい罫穴群や非常に貴重な植物であるカワゴケソウなどの生息を観察しながら、手付かずの自然の美しさを体験しました。



～地域の魅力再認識・再発見～

「平成22年度自然公園ふれあい全国大会」では、霧島屋久国立公園及びその周辺地域において、鹿児島の豊かな自然を体験する地域イベントを関係市町等の協力のもとに実施しました。

自然・文化・歴史あふれるプログラムに約1,200名の方が参加され、鹿児島島の自然を堪能されました。



コース
No.4

秋の山野草観察会 (会場:湧水町沢原高原)

【10月31日(日)】

約35万年前に形成された加久藤カルデラにある沢原高原のすばらしい景観と新旧重なる溶岩や貴重な動植物を観察しました。



コース
No.5

栗野岳ウォーキング (会場:湧水町栗野岳レクリエーション村)

【10月30日(土)、31日(日)】

地元案内人のガイド付きで標高1102メートルの栗野岳登山や栗野岳中腹の原生林トレッキングを体験しました。



コース
No.6

宮脇昭方式「命の森づくり植林教室」 (会場:みやまコンセル野外音楽場付近)

【11月13日(土)】

多種類の樹種を混ぜて植樹する「混植・密植型植樹」の実践を通して、自然林の再生の重要性及び地球温暖化対策としての森の大切さを学習しました。



コース
No.9

屋久島と森と人の歴史体験 (会場:屋久杉自然館)

【11月7日(日)】

屋久島と屋久杉に関する情報が盛りだくさんの屋久杉自然館で、屋久杉の成長の秘密や江戸時代の屋久杉利用の歴史などの解説を聞き、山の道具の使い方などを体験しました。



コース
No.8

佐多岬海中公園散策 (会場:南大隅町佐多尻尻港)

【11月13日(土)、14日(日)】

半潜水型展望船サタティ号で九州本島最南端佐多岬周辺の海中公園散策を体験しました。

